

秋のおすすめ本

伝統芸能や舞台芸術に関連した資料を選びました。
ぜひ、鑑賞の参考に手に取ってみてください。



能・狂言の誕生

【著】諏訪春雄 【請求記号】773/SU

日本人が世界に誇ることのできる能は、室町時代の1374年、観阿弥が京都・新熊野神社境内で演じた「白髭の曲舞」で産声をあげた。未だ解決をみない“能はいつどこで、だれの手によって誕生したのか”という疑問に答えるため、中国大陸からの影響を中心に追究。



歌舞伎の魅力

【著】上総英郎 【請求記号】774/KA

これから歌舞伎を見ようと思っている人へ
少し歌舞伎が面白くなってきた人へ
18歳の時から50年に及ぶ歌舞伎鑑賞の結実がここにある。入門編から歌舞伎の内なる魅力へと誘い、劇評を通して戦後歌舞伎の醍醐味が活写される。(出典：①)



上方らくご歳時記

【著】林家染丸 【請求記号】779/HA

この1冊であなかも上方落語通!よりすぐりの上方落語100篇を紹介し、そのエッセンスと面白さをわかりやすく解説。あわせて落語の成り立ちや修行の様子、お囃子などについても、蘊蓄と情熱を傾け語った、落語ファン待望の書。

出典：日外アソシエーツ『Book Plus』
①パピルスあい ②有限会社春風社
③紀伊国屋書店Web

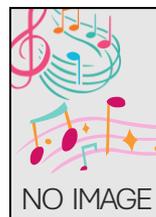
市ヶ谷図書館
キャラクター
ぶつくま



小劇場、みんながヒーローの世界：現代演劇の風景

【著】風間研 【請求記号】775/KA

生きる意味を見失った若者たちと、大人になれない大人たち。つかこうへい以後、時代を挑発しつづける小劇場の最前線から現代日本の閉塞状況と脱出の可能性を検証する、新しい世代のための演劇論。



世界のミュージカル・日本のミュージカル

【著】関根裕子ほか 【請求記号】775/IW

英・仏・独語圏のミュージカルと、宝塚歌劇から2.5次元作品までの日本のミュージカル—海外と日本、双方の歴史を紐解く。その上で、各国の作品の魅力、発展と変容の在り方を辿り、ミュージカルという芸能の今後の可能性と課題を考察する。全ミュージカルファン必携の一冊! (出典：②)



究極!クラシックのツボ

【著】許光俊 【請求記号】760/KY

バロックって何? クラシックってヨーロッパのものなの? バッハは何を聴けばいいの? オペラってどこがおもしろいの? —作曲家や演奏家、指揮者に歌手、コンサート作法からCDメッタ斬りの、ほかでは書けないホネを書いた大事典! (出典：③)



オペラにいこう! : 楽しむための基礎知識

【著】神木勇介 【請求記号】766/KA

オペラって何? オペラの歴史は? からチケット入手法、予習の仕方、鑑賞のマナーまでをビギナーにわかりやすく解説し、STEP UPコーナーでもっと深い楽しみ方までも提示する。

第3回 展示のお知らせ

詳細は
タイトルを
クリック!

・ 開架展示 ・

ライブラリーサポーターと図書館員が選ぶ

わたしの愛おし本

< 期間 > 2024年9月中旬～11月下旬

本展示ではライサポと図書館員が、利用者に読んでほしいおすすめ資料を用意しました。

さらにライサポ選書の資料には、選書者からのコメントも掲示しています。

「何度も読み返すほど好き!」「誰かにこの本の魅力を伝えたい!」…想いのこもった本たちが勢ぞろいです。

「読書を始めたい」その一歩を踏み出すきっかけにぜひご利用ください。ご来館お待ちしております!

場所 1F開架フロア 階段前



・ 企画展示 ・

食のある風景

第1章「文学フルコース」 2024年9月上旬～10月中旬

第2章「文彩アラカルト」 2024年10月中旬～11月下旬

実り多い味覚の秋に、食が登場する本はいかがでしょうか。

物語や随筆、料理書などに記された食からは、境遇や心情の他、時代背景や食文化が垣間見えたり、時には読み手に鮮烈な印象を与え記憶に残す小道具ともなります。絶品のご馳走から懐かしい思い出の味、ほろ苦い変わり種など、様々な風味をご堪能ください。

場所 正面ロビー展示ケース



展示資料に関連した食の情報と著者についてまとめた冊子もご用意しました! 展示と共にお楽しみください。

